

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-オ	産業間連携の強化	
施策	① 観光リゾート産業と多様な産業との連携		
主な取組	直売所を核とした県産食材消費拡大事業	実施計画 記載頁	177
対応する 主な課題	観光リゾート産業のさらなる高度化に向けては、ものづくり産業、農林水産業、情報通信関連産業等、多様な産業との有機的な連携を強化し、観光産業がもたらす県経済全体への波及効果を高めていく必要がある。		

1 取組の概要(Plan)

取組内容	直売所を中心とした地産地消の取り組みを強化する ① ホテル・飲食店・学校給食等への県産食材供給の実証事業 ② 直売所のネットワークを活用したイベントの開催 ③ 「おきなわ食材の店」とのマッチング等						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	実態調査			直売所の特性に応じた直売所活性化支援		→	県
	県産食材供給実証 2モデル/年						
	地域誘客支援 イベント開催1回/年						
担当部課	農林水産部流通政策課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
直売所を核とした県産食材消費拡大事業	21,399	16,985	地産地消の推進に対応した、直売所の活性化と観光産業との連携による県産食材の消費拡大を図るため、直売所の実態調査やホテル・学校給食への供給実証、県産食材フェア・ツアー等の誘客事業を行う。【一括交付金ソフト】	再掲 3-(7)-イ 230頁
活動指標名			計画値	実績値
直売所を対象としたセミナーの開催				1回
県産食材供給実証				2モデル
地域誘客イベント開催				6回
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	直売所とホテルの需給マッチングを行い、2件の供給路線を構築することができた。また、「直売所ネットワーク」や「おきなわ食材の店」を活用したモニターツアーを実施し、アンケートでの満足度や感想から、商品化への潜在的なポテンシャルが確認できた。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
直売所を核とした県産食材消費拡大事業	16,149	地産地消の推進に対応した、直売所の活性化と観光産業との連携による県産食材の消費拡大を図るため、直売所の実態調査や、県産食材フェア・ツアー等の誘客事業を行う。【一括交付金ソフト】	

(3) これまでの改善案の反映状況

計画通り進捗しており、前年度同様取り組みを推進する。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
宿泊業(飲食部門)における県産品利用状況	43.8% (21年度)		45%		-
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
直売所からホテル、学校給食等への食材の供給開始	-	-	3件 (H24年)	-	-
状況説明	ホテル2件、学校給食1件において、直売所からの供給ルートを実証、直売所を活用した地産地消の推進が図られた。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

- ・誘客モデル事業について、イベントの開催が11月~3月となり、集客が思うようにできなかった。
- ・供給実証事業により、直売所からホテルへ供給ルートが実証できたものの、自走できるところまでは至らなかった。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・事業の開始時期を早めて、観光客シーズンである夏季にイベントが開催できるよう検討する。
- ・供給実証事業について、供給量を増やせるように、供給対応可能な直売所の発掘を行う。また、収益性が十分見込まれるような料金システムを検討する。
- ・直売所実態調査を継続しつつ、得られたデータを活用して、さらに課題が明確になるような分析の手法を検討する。

4 取組の改善案(Action)

- ・事業開始を6月までに行い7月からイベントが開催できるようにする。
- ・直売所実態調査の中で、直売所の類型化や類型ごとのさらに掘り下げた調査・分析を行い、供給体制の整備に繋がる取り組みを展開する。

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-オ	産業間連携の強化
施策	① 観光リゾート産業と多様な産業との連携	
主な取組	プレミアム加工品開発支援事業	実施計画 記載頁 178
対応する 主な課題	観光土産品については、観光客に選ばれる魅力的な観光土産品の開発販売の促進や観光土産品の域内調達率の向上が課題となっており、沖縄らしさを感じられる地域特産品の開発やブランド化、農商工連携等を含めた事業者間の連携を促進し、産業間相互の振興に努める必要がある。	

1 取組の概要(Plan)

取組内容	県産農林水産物を活用した加工品の商品力を引き上げ、販路を拡大する ・商品開発人材の育成支援 ・プレミアム認証支援						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	10件 支援件数					→	県
	プレミアム認証支援			販路開拓支援		→	
	商品開発人材育成						
担当部課 農林水産部流通政策課							

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
プレミアム加工品開発支援事業	50,000	47,173	県産農林水産物を活用した加工品のプレミアム認証に向け、加工品開発研修を行うなどの人材育成支援や販路拡大に16件取り組んだ。 【一括交付金ソフト】	再掲 3-(7)-イ 231頁 3-(7)-キ 248頁 3-(9)-ア 264頁 5-(5)-イ 379頁
活動指標名			計画値	実績値
支援件数			10件	16件
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	・実践課程「商品力向上コース」「伝達力向上コース」の2コース設定し、本島、八重山地区で各コース全5回実施し、魅力ある商品を開発できる人材の育成に取り組んだ。(宮古地区は希望者なし)			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
プレミアム加工品開発支援事業	46,000	県産農林水産物を活用したプレミアム加工品の開発・販路拡大を図るため、商品開発研修を行うなど人材育成支援や販路拡大を促進するプレミアム認証の支援を行う。【一括交付金ソフト】	

(3) これまでの改善案の反映状況

計画通り進捗しており、前年度同様取り組みを推進する。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
—	—	—	—	—	—
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
モンドセレクション・iTQiへの申請	—	0件 (H23年)	2件 (H24年)	↗	(年)
状況説明	付加価値の高い商品の開発支援として、国際的な評価認証取得支援を実施し、モンドセレクションへ1件申請し「銀賞」を受賞、iTQi(優秀味覚賞)へ1件申請し「三ツ星」を受賞する結果となった。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境など)

・早期研修開始の必要性
商品開発には時間がかかるという事業特性の観点から研修を早期に開始できるような支援体制が必要である。今回交付決定後の事業執行の関係上、研修期間が短期間(4ヶ月)となり、最終商品化まで至らない事業者も見られた。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・研修体制強化
商品開発プロセス全体を助言・支援するよう、商品開発やマーケティング・品質管理・デザインの課題に合わせた研修の実施を検討する。

4 取組の改善案(Action)

・魅力ある高品質商品を開発する人材育成をするため、商品開発にあたって、一次原料の品質管理や製造管理の改善に関するセミナー支援が必須である。早期に事業執行を開始し、特に、沖縄の特色ある熱帯果樹を活用した商品化は、マーケットニーズが高いことから、この生産時期をとらえて研修を実施し、人材育成を図る必要がある。

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-才	産業間連携の強化
施策	① 観光リゾート産業と多様な産業との連携	
主な取組	農林水産業活性化推進拠点整備事業	実施計画 記載頁 178
対応する 主な課題	観光客が利用するホテルや飲食店等において地産地消を進める上で問題点等を十分に把握した上で、一層の連携強化を図るほか、グリーンツーリズム等を通じた、農山村地域と都市との地域間交流や農山村地域の所得向上等に向けた取組強化が求められる。	

1 取組の概要(Plan)

取組内容	<p>・沖縄県の地域特性を最大限に活かすことができる6次産業化のあり方検証のため、情報拠点となる加工拠点、品質基準、管理の拠点となる物流拠点等について、調査・分析し、沖縄県6次産業化推進基本戦略(仮称)を策定する。</p> <p>・農山漁村を活性化するため、市町村をまたがる交流拠点となる組織体制を整備し、体験・交流メニュー等の効率的な運用を図ることでグリーンツーリズムにおける交流人口を増加させる。</p>						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	0圏域 交流拠点 施設整備				5圏域 (累計)	→	県
	交流拠点施設の整備や新たな体験メニューの開発・人材育成等						
担当部課	農林水産部 村づくり計画課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
農林水産業活性化推進拠点整備事業	30,259	29,771	<ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化推進基本戦略(仮称)の策定 ・農山漁村交流拠点のあり方について、モデル地域での基礎調査(地域資源調査等)、地域交流拠点組織のあり方、方向性を示すための分析及び座談会の開催、テーマパーク型体験交流施設整備可能性調査を実施した。【一括交付金(ソフト)】 	—
活動指標名			計画値	実績値
沖縄県6次産業化推進基本戦略(仮称)の策定			—	策定済
交流拠点施設の整備 新たな体験メニューの開発・人材育成等			0圏域	1圏域
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	<p>・沖縄県の地域特性を最大限に活かすことが出来る6次産業化の支援体制のあり方を検証し、沖縄県6次産業化推進基本戦略(仮称)を策定した。</p> <p>・今回、モデル地域において民泊連携組織を発展させた中心的地域交流拠点組織体制(案)が策定され、組織体制、必要な機能、運営収支、人材育成、個々の体験・交流メニュー及び多様な連携プログラムの提案等、組織の活動内容等が明確化したことで、地域交流拠点組織の運営体制が具体化された。</p>			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
農林水産業活性化推進拠点整備事業	31,139	<ul style="list-style-type: none"> ・策定した「沖縄県6次産業化推進基本戦略(仮称)」を基に、農林漁業者の6次産業化への円滑な取組推進を図るため、農林水産部内にワーキングチームを立ち上げ、施策、支援体制等の検討を行う。 ・1地域交流拠点組織設立支援、2地域交流拠点組織の自立的な運営体制の検討、3地域交流拠点組織設立マニュアルの作成、4モデル地域における地域交流拠点設立に向けた具体的な取組み(体験・交流メニューの組立・実証等)【一括交付金(ソフト)】 	—

(3) これまでの改善案の反映状況

・農林水産部内に6次産業化への円滑な取組推進を図るため、ワーキングチームを立ち上げ、施策、支援体制等の検討を行う。

・地域交流拠点組織が体験・交流メニューの組立を運用していく上で、そのプログラムを実証するためのモニターツアー実施等や情報発信等に必要な環境整備について検討する。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
—	—	—	—	—	—
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
6次産業化法に基づく総合化事業計画の認定	—	23件 (23年)	42件 (24年)	↗	平均28件 (24年)
グリーン・ツーリズムにおける交流人口(農家民宿)	4万人 (22年度)	4万人 (23年度)	— (24年度)	→	—
状況説明	<p>・沖縄県の地域特性を最大限に活かすことが出来る6次産業化の支援体制のあり方を検証し、沖縄県6次産業化推進基本戦略(仮称)を策定した。6次産業化法に基づく総合化事業計画の認定件数については、平成23年3月に同法律が施行され、約2年が経過しているところであるが、国としては、今後とも「攻めの農林水産業」を進めるうえで、6次産業化を推進することとしているため、今後も増加傾向にあると考えられる。</p> <p>・24年度は地域交流拠点組織体制(案)が策定され、地域の実態把握及び課題の整理、またその内容及び必要性について共有化を図</p>				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

グリーン・ツーリズムが徐々に浸透してきたことから、組織づくりや人づくり、ものづくり等、各段階において、様々な参考となる意見・要望が寄せられているため、施策の体系化を図り、各意見・要望に対して具体的な支援を取りまとめた上で、計画を策定し、情報発信を充実していく必要性がでてきた。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

地域交流拠点組織が運営していく上で、組織(受け皿)のあり方や体験・交流メニューの組立、連携プログラムを実証するためのモニターツアー実施等や情報発信等に必要な環境整備について検討する。

4 取組の改善案(Action)

グリーン・ツーリズムの計画的な推進を図るため、様々な参考となる意見・要望を参考に、今後の地域交流拠点組織の設立運営に向けた具体的な取り組みとして、受け皿を担う人材の育成や役割の具体化、体験・交流メニュー組立実証、情報環境の整備を重点的に行うべく、部内各課との検討会を開催し、「交流促進計画」を作成する。また、観光関連等各事業との連携について検討するほか、ホームページ等による情報発信の充実を図る。

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-オ	産業間連携の強化		
施策	【施策】① 観光リゾート産業と多様な産業との連携			
主な取組	都市農村交流促進事業(グリーン・ツーリズム)	実施計画 記載頁	178	
対応する 主な課題	観光客が利用するホテルや飲食店等において地産地消を進める上での問題点等を十分に把握した上で、一層の連携強化を図るほか、グリーンツーリズム等を通じた、農山村地域と都市との地域間交流や農山村地域の所得向上等に向けた取組強化が求められる。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	農山漁村地域の活性化を図るため、各地区グリーンツーリズム実践者代表を含む有識者等で構成される「沖縄まちと村交流促進会」での意見を聴取し、「組織づくり、人づくり、ものづくり」の視点から各施策を展開し、地域住民による主体的なグリーンツーリズムの取り組みを支援する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	4万人 交流人口 (H22)				7万人	→	県
	新たな体験メニューの開発・人材育成及び情報発信等						
担当部課	農林水産部 村づくり計画課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
都市農村交流 促進事業	4,000	2,718	・グリーンツーリズムの推進について関係各課と意見交換会を開催 ・「まちと村交流促進会」を開催し有識者等から意見を聴取した。 ・グリーンツーリズム体験者アンケートや民宿実態調査の実施 ・グリーンツーリズムの実証として農林水産業体験バスツアーを企画 開催 ・グリーンツーリズム推進に関する「交流促進計画」の作成に取り組 んだ。【県単等】	再掲 3-(7)- キ 249頁
			計画値	実績値
農山漁村と都市との交流を促進するためのグリー ン・ツーリズムにおける交流人口(農家民宿)			4万人	4万人
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	グリーンツーリズムの計画的な推進を図るため、部内各課との検討会を開催し、「交流促進計画」の作成に取り組んだ。有識者等から構成される「まちと村交流促進会」では、グリーンツーリズムの情報発信等についての意見が得られた。体験者アンケートや民宿実態調査では、交流人口の実態等の把握ができた。バスツアー企画では、6コース104名の参加が得られ、各地区の農山漁村の魅力を伝えることができた。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
都市農村交流 促進事業	3,240	・「まちと村交流促進会」を開催し、有識者等から意見を聴取し施策に反映する。 ・グリーンツーリズム体験者アンケートや民宿実態調査を実施、継続して農山漁村と都市との交流人口(農家民宿)を把握し施策の検証を行う。 ・農林水産業体験バスツアーを企画開催し、農山漁村への理解と魅力を伝える。 ・グリーンツーリズム推進に関する「交流促進計画」の作成に取り組む。【県単等】	—

(3) これまでの改善案の反映状況

24年度は、グリーンツーリズムを推進するため、部内各課との検討会を開催し、「交流促進計画」(案)の作成に取り組めた、引き続き作成に取り組む。また有識者等から構成される「まちと村交流促進会」での意見等を得、「組織・人・ものづくり」の視点から各事業との連携を図っていく。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
—	—	—	—	—	—
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
グリーン・ツーリズムにおける交流人口 (農家民宿)	4万人 (22年度)	4万人 (23年度)	調査中 (24年度)	→	—
状況説明	24年度は、グリーンツーリズムを推進するため、部内各課との検討会を開催し、「交流促進計画」(案)の作成に取り組み、また有識者等から構成される「まちと村交流促進会」での意見等を得ることで、各事業との連携が図られた。実績は前年度並となったが、24年度はグリーンツーリズムを活用した修学旅行が盛んになってきており、今後も農家民宿の利用は増加すると考えられる。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境など)

グリーン・ツーリズムが徐々に浸透してきたことから、組織づくりや人づくり、ものづくり等、各段階において、様々な参考となる意見・要望が寄せられているため、施策の体系化を図り、各意見・要望に対して具体的な支援を取りまとめた上で、計画を策定し、情報発信を充実していく必要性がでてきた。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

グリーンツーリズムの推進において、「交流促進計画」を作成し、組織づくりや人づくり、ものづくりの視点から、地域住民(グリーンツーリズム実践者)による主体的な取り組みへの支援について検討する。

4 取組の改善案(Action)

「交流促進計画」に基づき、下記のような各事業との連携や情報発信の充実を図る。グリーンツーリズムを活用した修学旅行の受け入れなど農家民宿も盛んになってきたことで、農家民宿に必要な各種法令手続きについての情報を整理、提供をしていく。またグリーンツーリズムPRについては観光業界等のHP掲載などを活用していく。各事業と連携により、広域的なグリーンツーリズムの体験・交流メニューの組立、実証を実施することで、地域の主体的な取組みを支援する。

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-オ	産業間連携の強化
施策	① 観光リゾート産業と多様な産業との連携	
主な取組	森林ツーリズム推進事業	実施計画 記載頁 178
対応する 主な課題	観光客が利用するホテルや飲食店等において地産地消を進める上での問題点等を十分に把握した上で、一層の連携強化を図るほか、グリーンツーリズム等を通じた、農山村地域と都市との地域間交流や農山村地域の所得向上等に向けた取組強化が求められる。	

1 取組の概要(Plan)

取組内容	森林ツーリズム拡張現実(AR)及びバーチャル体験等のIT技術を活用し、森林ツーリズム実施主体の意識の高揚を図る。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	森林ツーリズム実施主体の育成						県
担当部課	農林水産部森林緑地課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
森林ツーリズム推進事業	5,000	4,097	スマートフォンを活用した森林ツーリズム拡張現実(AR)及びバーチャル体験の導入【県単等】	再掲 3-(7)-キ 249頁
活動指標名			計画値	実績値
-			-	-
-			-	-
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	新たなプログラムの導入により、森林組合等、林業従事者の意識の高揚が図られた。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
森林ツーリズム推進事業	2,750	スマートフォン及びタブレット端末を活用した森林ツーリズム拡張現実(AR)及びバーチャル体験の導入【県単等】	再掲 3-(7)-キ 249頁

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

スマートフォンに加え、タブレット端末も活用する。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
—	—	—	—	—	—
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	公園利用者に試してもらい、意見を聞いている。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

県民のニーズに対応できるプログラム作成

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

利用者に対するマーケティングの実施

4 取組の改善案(Action)

- ・県民に森林や自然に興味を持ってもらい楽しめるプログラム作り。
- ・公園利用者に試してもらい、ニーズを把握する。